八ケ岳山麓 ニワトリ編

動物ふれあい日記

2 ニワトリが望む理想の小屋とは？

皆で砂浴び。羽を広げながら足で砂を舞い上げ、羽毛の間に砂をまぶし、身震いする。この行動によって、羽毛の古い油や汚れが落ちる＝2020年10月26日、八ケ岳中央農業実践大学校

直径５㌢の丸い止まり木を好む。下にいるニワトリが上のニワトリの肛門をつつけないように、高さは55㌢になっています。奥の白い部分も高さ30㌢で、止まり木の代用。その奥の赤いカーテンの奥が巣箱になっている＝2020年12月４日、八ケ岳中央農業実践大学校

日本の96％の養鶏農家が採用している産卵鶏のケージ飼育。この写真ではケージ当たり7羽が入れられており、ほぼ1羽当たりB4サイズの面積になっている＝2008年2月27日、一般養鶏場

「平飼い」本格導入へ

恐竜の子孫をどのようにに飼ったらよいのでしょうか？当然、健康で卵を産める小屋が理想でしょう。健康は病気や怪我がないことがもちろん重要ですが、皆さんもそれだけで十分ですか？ご飯の他に魚も肉も食べたい、お風呂に入りたい、夜はベッドや布団で眠りたい、爪は伸びすぎるとあぶないので時々切りたい、友達と遊びたいなど、健康を保つには病気や怪我を避ける様々な事が必要ですね。ニワトリも同じです。主食のトウモロコシに加えて草も虫も食べたいし、体の汚れを落とす砂浴び場、寝る時の止まり木、爪を研ぐヤスリ場、そして友達も必要です。さらに、卵を産む時の隠れる場所、巣が必要です。皆さんに最も安く卵を提供するために、これまで６面網のケージの中で飼ってきましたが、大学校ではこれらのことが出来るように、ケージの中に家具を入れたエンリッチド・ケージや草が生え、昆虫やミミズのいる場所への放牧を取り入れた平飼いの方法を試そうとしています。

10日前までケージ飼育されていたニワトリなのに、屋外で飼育するとこのような草の茂った所を踏み固め、産卵しようとする。生まれながらの性質＝2020年９月12日、八ケ岳中央農業実践大学校

新鶏舎横に柵で囲った放牧地約1000平方㍍を用意。ニワトリを放牧して飼育する「平飼い」を今年３月から本格導入する予定＝2020年９月７日、八ケ岳中央農業実践大学校

佐藤衆介（さとう・しゅうすけ）

1978年に東北大学大学院農学研究科博士課程修了。80年から宮崎大学助手、88年から同大助教授を務める。94年に東北大学助教授に着任。2002年からは農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所放牧管理部長。05年から東北大学大学院教授を務める。同大名誉教授。15年からは帝京科学大学教授。19年に八ケ岳中央農業実践大学校（原村）の畜産部長となり、現在に至る。主な著書は「アニマルウェルフェア」（東京大学出版会、2005）など。